

お元気ですか

南 恵子

です

ニュースを読んでご
意見をお寄せ下さい。

区議会議員

南 恵子

TEL 3790-1523



発行責任者 日本共産党品川区議会議員 南 恵子 八潮5-12-65-503

メールアドレス minami@jcp-shinagawa.com

介護保険 大改悪 要支援は介護給付から外すなど サービス切り捨ては許さない

安倍政権は、昨年、「医療・介護総合法」成立を強行しました。この法律は、高齢者を介護サービスの対象から外し、入院患者の追い出しをさらに進めるなどの公的介護・医療保障を土台から掘り崩す大改悪です。今後、改悪の具体化を食い止めるには、多くの区民・国民との共同が重要です。学んで戦い、食い止めましょう。

要支援者を切り捨て

安倍自公政権は「医療・介護総合法」の可決を強行。要支援者の訪問介護（ヘルパー）や通所介護（デイサービス）を保険給付から外して、市町村が実施している地域支援事業に移します。

地域支援事業とはNPOや民間企業、ボランティアなどが「身近でトレーニング」「水中トレーニング」「いき運動教室」などの事業を介護認定されていないが、日常生活を送るうえで機能の低下が心配される方などを対象に実施しています。「総合法」は、そこに要支援1・2の方でも対象にするというのです。
支援が必要なのに「自立」を強要

厚労省が示した「ガイドライン」案は、要支援者の多くは食事や排せつなどの日常生活行為は「自立」していると

介護保険学習会

1月17日(土) pm 10時

中小企業センター

改悪の内容をうかんで

反対運動を広げよう

し、掃除や買い物などの生活行為に困難があるのは周囲の働きかけの問題としています。

「掃除は、掃除機ではなく、ほうきやモップに変え、買い物は籠付き歩行器に変えるなどで改善できる」としています。そして、要支援の方に「自立意欲の向上」を求めています。

要支援や要介護になるのは多くが、病気やけがなどですから、ガイドラインが示すように「意欲」さえあれば「困難は無くなる」ものではありません。

「総合法」は、介護保険制度をさらに悪くするもので、本当に許せません。

歩道上の自転車置き場は危険

抜本的な駐輪対策を

大森駅水神口駅前の駐輪場が地下化に 繰り返し区と交渉 寒風の中座込みなど 住民運動の力

昨年の第4定例会で、品川区は大森駅水神口の放置自転車対策として駅前の公園地下に駐輪場をつくることを明らかにしました。他党の質問に答えたものですが、想定外の答弁に「やったー！ よかったね」と喜んだのは共産党席からでした。

2年前の12月、寒風の中、大森駅前住宅の方たちは2週間余にわたって座り込む。区の関係者は、「二度とあのようなこと（座り込み）はさせてはならないと思いましたが」と話しました。本当にその通りです。区民の声に真摯でいてほしい。



JR大森駅水神口から水神公園をみる

オリンピックとマンション増設が契機に

昨年12月16日に開かれた建設委員会で、区は、自転車駐輪場建設の理由を次のように説明しました。5年後に開催されるオリンピック・パラリンピックに向けてと、駅周辺のマンション計画の増加が見込まれ、放置自転

車をなくす必要がある。地下化すると経費がかかるが、収容台数が大きくなるのでそれを選択したということでした。

駐輪場の抜本整備を求め住民の方たちが区に話し合いを求めてきた

大森駅前住宅のみなさんは歩道上につくるのではなく、大森駅周辺の抜本的な駐輪対策を求め、区と住民双方の話し合いで知恵を出し合おうと話し合いを求めましたが、平行線でした。（自民、公明、民主、共産の各議員が仲立ち）

工事の具体化は来年度予算に計上

地下化工事は、地下を20mほど掘り下げ、治水対策を取るのに技術的な検討も必要、慎重に進めるという説明です。今年度と来年度に予定していた歩道上の整備計画は、中止になります。